



ポタン桜 (芳賀町)



サシバのふるさと (市貝町)



真岡のいちご (真岡市)



河井のささら (茂木町)

真岡土木事務所ガイド 2023

MOKA CIVIL ENGINEERING OFFICE
INFORMATION GUIDE

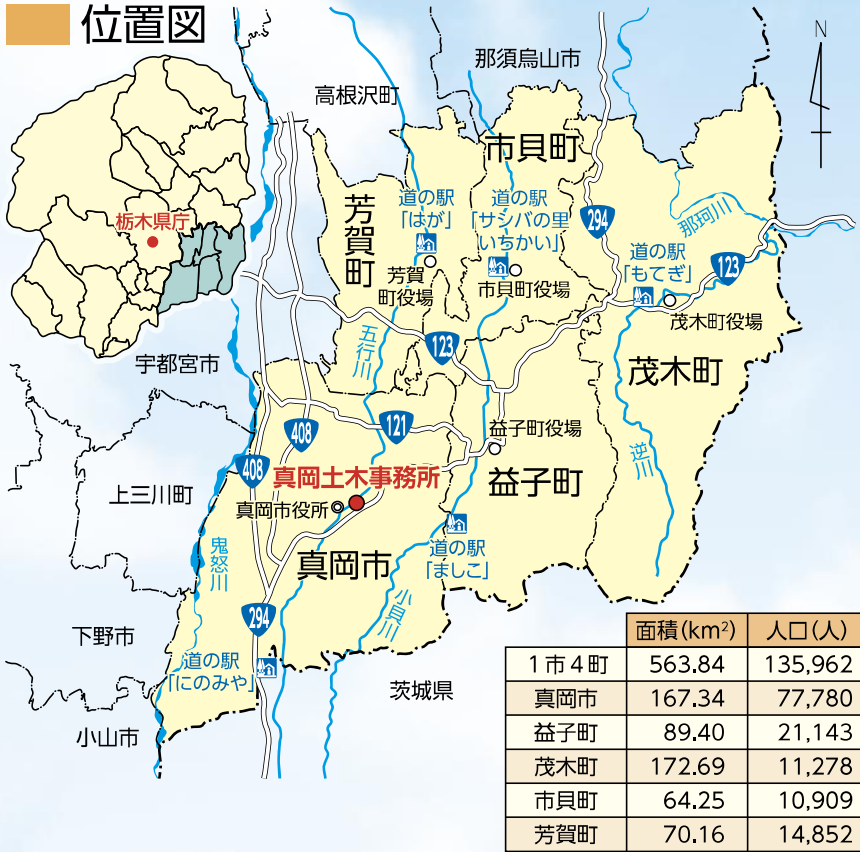


栃木県誕生150年
みんなで創る、未来のとちぎ

ひまわり畑 (益子町)



位置図



管内の概要

真岡土木事務所は栃木県の南東部に位置する芳賀地域の1市4町(面積約564km²、人口約14万人)を管内とします。

管内には、日本一のいちごの産地で知られる真岡市、伝統工芸である益子焼で有名な益子町、大型モータースポーツ施設「モビリティリゾートもてぎ」のある茂木町、本州最大級の芝ざくら公園のある市貝町、高度産業の工業団地群を有する芳賀町があります。

所管する道路は、一般国道が4路線、主要地方道が11路線、一般県道が39路線の計54路線あり、総延長が約422kmあります。また、河川は利根川水系の小貝川、五行川をはじめ14河川、那珂川水系では、逆川をはじめ11河川の計25河川、総延長約193kmあります。その他、砂防指定地が111箇所、地すべり防止地域が9箇所、急傾斜地崩壊危険区域が38箇所あり、これら公共土木施設の適正な管理に努めるほか、管内各市町における工業団地の整備や農業、観光・物流産業の振興等、各々の地域特性を踏まえた『まちづくり』への支援・連携を図りながら各種の事業を展開しています。

栃木県に占める割合(令和5(2023)年度)

区 分		栃木県A	事務所管内B	B/A(%)	備 考
面	積	6408.09km ²	563.84km ²	8.8%	令和5(2023)年1月1日
人	口	1,902,023人	135,962人	7.1%	令和5(2023)年3月1日
市	町	25市町	5市町	20.0%	令和5(2023)年1月1日
管	国 道 数	12路線	4路線	33.3%	令和4(2022)年4月1日
	国 道 延 長	691,592m	96,732m	14.0%	//
	国 道 舗 装 率	99.6%	100%	—	//
	国 道 改 良 率	98.8%	100%	—	//
県	道 数	294路線	50路線	17.0%	//
県	道 延 長 (公社管理除く)	2,884,312m	325,231m	11.3%	//
県	道 舗 装 率 (公社管理除く)	96.5%	99.5%	—	//
県	道 改 良 率	88.1%	89.9%	—	//
県	管理国道及び県道における永久橋	2806橋	342橋	12.2%	//
県	一 級 河 川	292河川	25河川	8.6%	令和5(2023)年4月1日
	一 級 河 川 延 長	2,474km	193km	7.8%	//
砂防指定地	箇 所 数	1,596か所	111か所	7.0%	令和4(2022)年12月末
	面 積	7240.87ha	273.00ha	3.8%	//
土	砂 災 害 警 戒 区 域	9,701か所	1,521か所	15.7%	令和5(2023)年1月10日
県	営 住 宅 数	7,196戸	177戸	2.5%	令和5(2023)年4月1日
都	市 計 画 区 域	413,344ha	56,384ha	13.6%	//
市	街 化 区 域	30,119ha	2,169ha	7.2%	//
用	途 地 域	38,874ha	2,757ha	7.1%	//

基本方針

県南東部(1市4町)の未来を築く基盤づくりの推進

主な施策

1 《道路》～暮らしや産業・観光を支え、災害に強い強靱な道路ネットワークの構築～

【広域道路網の構築】

県南東部の成長を支え、人・物の流れをつくるため、一般国道408号真岡南バイパスの整備や一般国道294号二宮拡幅、主要地方道つくば益子線長堤のバイパス整備等を推進する。

【交通安全対策】

歩行者の安全な通行を確保するため、一般県道黒田市埴真岡線市貝町杉山工区におけるバイパス整備や一般県道西小埴真岡線真岡市小林等の歩道整備を推進する。

【県土強靱化】

災害発生時の交通やライフラインを確保するため、主要地方道那須黒羽茂木線 茂木町茂木工区等の無電柱化の整備等を推進する。

2 《河川・砂防》～自然災害から県民の命を守る安全な社会の構築～

【防災・減災】

生命・財産を守るため、一級河川五行川の河川改修や一級河川百目鬼川の放水路、茂木町上郭内の砂防堰堤等の整備に加え、流域全体の関係者との協働による流域治水を推進する。

3 《まちづくり》～持続可能でにぎわいのある誰もが暮らしやすいまちづくり～

【区画整理事業と連携した都市計画道路の整備】

快適・便利な都市づくりを目指し、芳賀町祖母井地区等の土地区画整理事業と連携した街路整備を推進する。

4 横断的施策

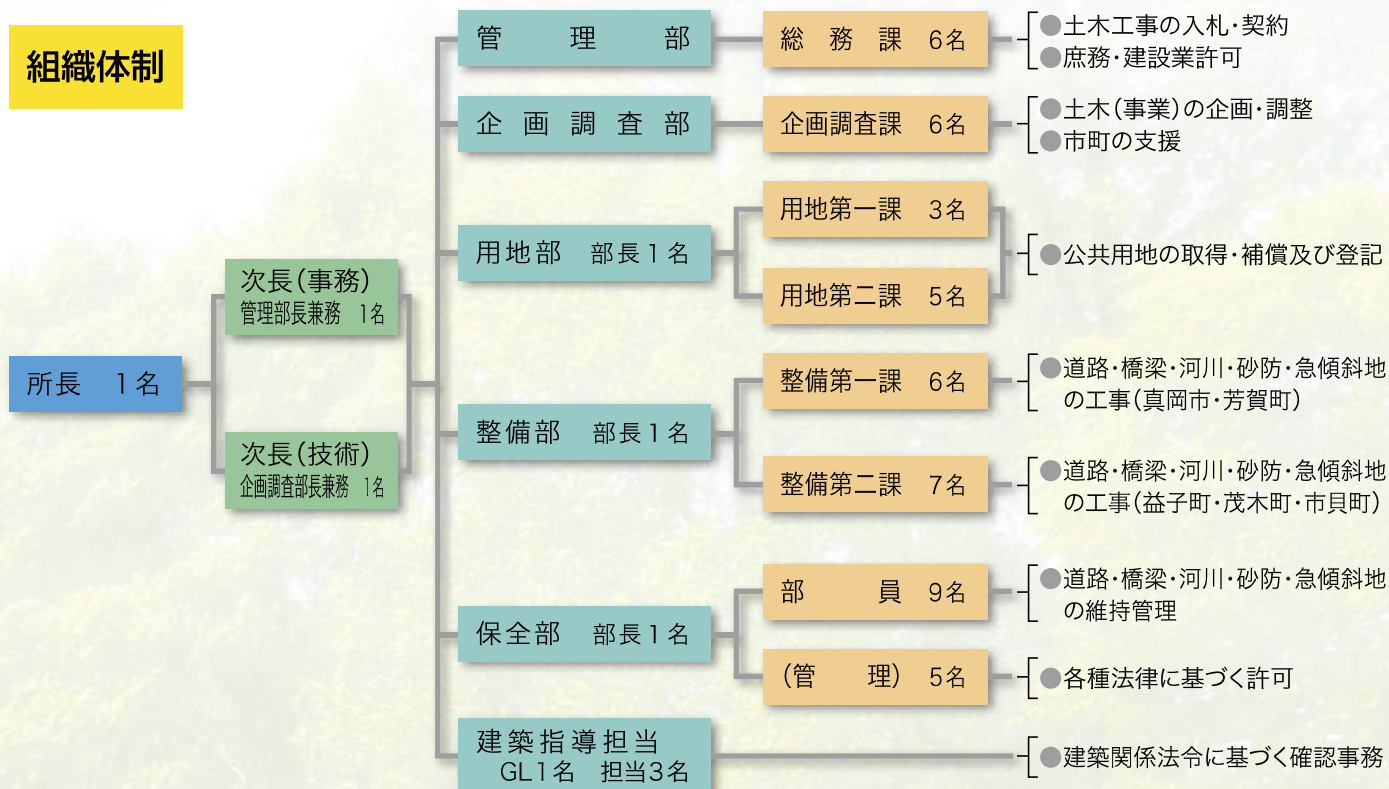
【施設の長寿命化】

社会インフラに求められる機能を確実に維持継続させるため、計画的に点検・管理・修繕を行う予防保全を展開し、持続可能なインフラメンテナンスを推進する。

【DX化の推進】

ICT等の未来技術を活用した取組(測量設計、施工管理、施設点検、パトロール)の導入を推進する。

組織体制



●職員数

57名(事務職員 21人、技術職員 33人(茂木町からの派遣職員1名を含む)、現業職員 3人)

●その他職員

8名(用地事務支援員 2人、道路河川監視員 4人、事務補助員 2人)

(令和5(2023)年4月現在)